

No.47

2006 冬期号



5回AACA賞・第4回芦原義信賞 受賞者・選考委員

CONTENTS

第17回 2005 aaca横浜景観シンポジウム

会長 ご挨拶	2
パネリスト・コメンテーター・コーディネーター紹介	2~3
パネルディスカッション	別冊

第15回AACA賞・第4回芦原義信賞

各賞 作品	4~10
2005かんさい 発足記念トーク	11
トピックス	12

社 団 法 人
日 本 建 築 美 術 工 芸 協 会

第17回 2005 横浜 aaca 景観シンポジウム

aaca

日本建築美術工芸協会

2006冬-2

2005年10月28日(金曜日) 午後1時より4時 横浜関内新井ホール

主催 日本建築美術工芸協会

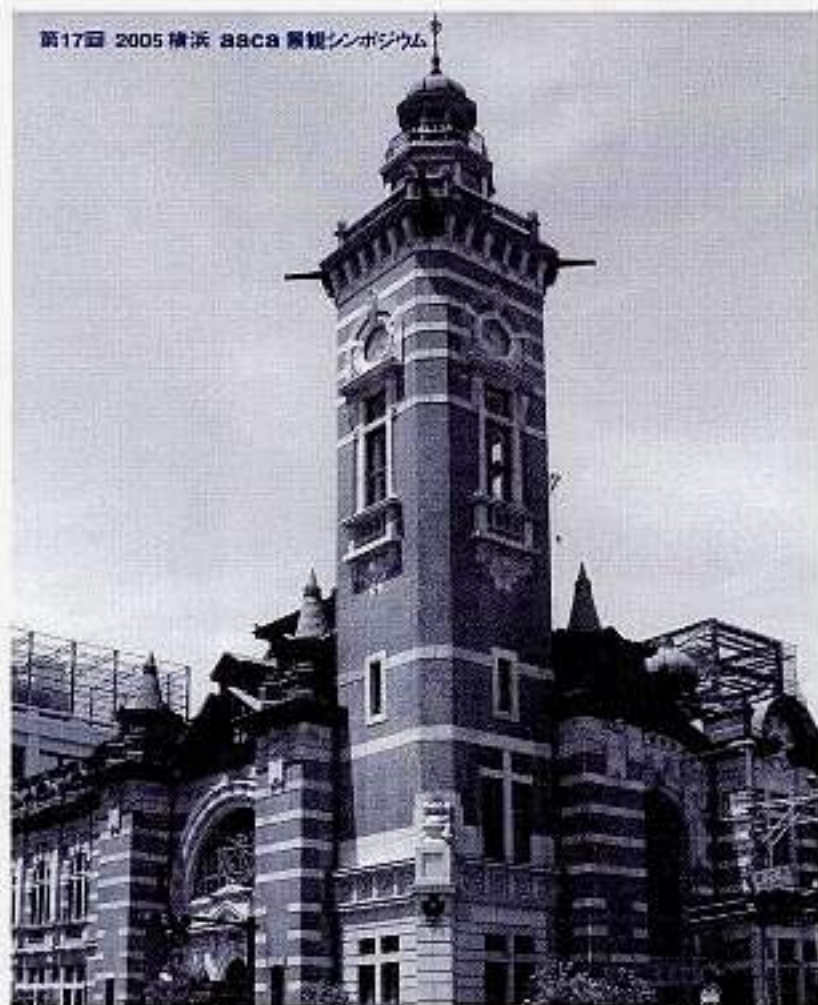
後援 文化庁、(社)日本建築学会、(社)日本建築家協会、(社)日本建築士会連合会

ご挨拶 aaca会長 中島 昌信



(社)日本建築美術工芸協会「2005 横浜 aaca 景観シンポジウム」開催に当たりましてご挨拶申し上げます。

当協会は1988年文化庁所管の社団法人として設立いたしました。より北海道から九州にいたる各地にて景観シンポジウムを開催してまいりました。当年は設立17周年を迎え第17回景観シンポジウムを都市デザインの先駆的な横浜で開催できます事に大変意義を感じているところです。去る1965(昭和40)年当時横浜市長の飛鳥田さんが、横浜の都市機能再生プロジェクトとして、市政の基本目標となる「六大事業」を発表されたのが街づくりの創始と記憶いたしております。私事で恐縮ですが1972(昭和47)年「三菱重工横浜造船所の移転跡地開発の企画」から始まり、ランドマークタワーの竣工した1993(平成5)年迄の約20年間プロジェクト実施の担当をしておりました。この思い出の深い横浜において本日シンポジウムを開催することができましたのも、横浜市当局の多大なご指導ご支援の賜と深く感謝いたします。それでは皆様と共に実り多いシンポジウムでありますことを期待いたしまして、簡単ではありますが挨拶とさせていただきます。



「横浜のデザイン戦略」 aaca副会長 仙田 満

横浜市は1950年代末から都市デザインという分野で日本では先導的なさまざまな施策、政策を行ってきました。しかし一方、巨大な都市人口の集中により横浜の斜面緑地が失われ、都市景観は横浜らしさの保持が難しくなっています。横浜アートビエンナーレや新客船ターミナル等、新しい建築的、環境的な試みがなされる一方、歴史的な建物もその存在が希薄になっているところもあります。多様な側面を持つ「大都市のデザイン戦略」はどうあるべきかを議論したいと思います。

パネリスト

香山 壽夫氏
建築家

横浜のプロジェクトを通じて、横浜の歴史と景観形成

略歴 '60 東京大学工学部建築学科卒、'65 ペンシルバニア大学美術学部修士課程修了、
'68 九州芸術工科大学助教授、'71 東京大学助教授、'86 同教授・工学博士、
'97 東京大学名誉教授・明治大学教授、'99 ペンシルバニア大学客員教授、
現放送大学教授、香山壽夫建築研究所代表、

作品 相模女子大学、彩の国さいたま芸術劇場、聖アンデレ教会、関川歴史資料館、
聖籠中学校、可児市文化創造センター、横浜税関、聖学院大学礼拝堂、ほか

菅 孝能氏
建築家
都市計画家

まちづくりの立場からの景観形成

略歴 '65 東京大学工学部建築学科卒、'65 榊大高建築設計事務所勤務、
'68 榊和設計事務所勤務、'74 同取締役 '83 榊山手総合計画研究所設立、
横浜プランナーズネットワーク代表幹事、横浜まちづくり倶楽部理事、

作品 菊田町立図書館、伊万里市民図書館、日本大通、横浜ドッグヤードガーデン、
金沢シーサイドライン保全地区計画、港北NTタウンセンター地区計画 ほか

高橋 晶子氏
建築家

新しい建築形態と景観形成

略歴 '80 京都大学工学部建築学科卒、'86 東京工業大学博士課程中退、
'86 篠原一男アトリエ勤務、'88 高橋亮とワークステーション設立、
'04 武蔵野美術大学教授、

作品 高知県立坂本能馬記念館、岐阜県営住宅ハイタウン北方、佐川町立桜座、
野毛山動物園ふれあいコーナー、横浜トリエンナーレ2005会場計画、ほか

樋口正一郎氏
美術家
都市景観研究家

環境アーティストとしてアートワークと景観形成

略歴 東京芸術大学 彫刻科卒、東京大学建築学科研究生、
環境造形の研究のほか 彫刻、造形作家、写真家、評論家として活躍。

作品 都営地下鉄大江戸線清澄白川駅 壁面アート、ほか

国吉 直行氏
都市デザイナー

行政の立場より横浜の都市デザイン・景観形成

略歴 早稲田大学理工学部建築学科卒、同 修士課程修了、
'71 横浜市役所入庁、以来35年間都市デザイン担当、
'01 都市計画局都市デザイン室室長、

'04~都市整備局上席調査役エクゼクティブアーバンデザイナー、

コメンテーター

田村 明氏
都市計画家

略歴 '50 東京大学建築学科卒、'53 同法律学科卒、'63 環境開発センター計画部長、
'68 横浜市企画調整部長、局長、技監、'81 法政大学教授、'97 同名誉教授、

著書 「都市ヨコハマをつくる」(中央公論社)、「まちづくりの発想」(岩波書店)、
「まちづくりの実践」(岩波書店)、ほか

コーディネーター

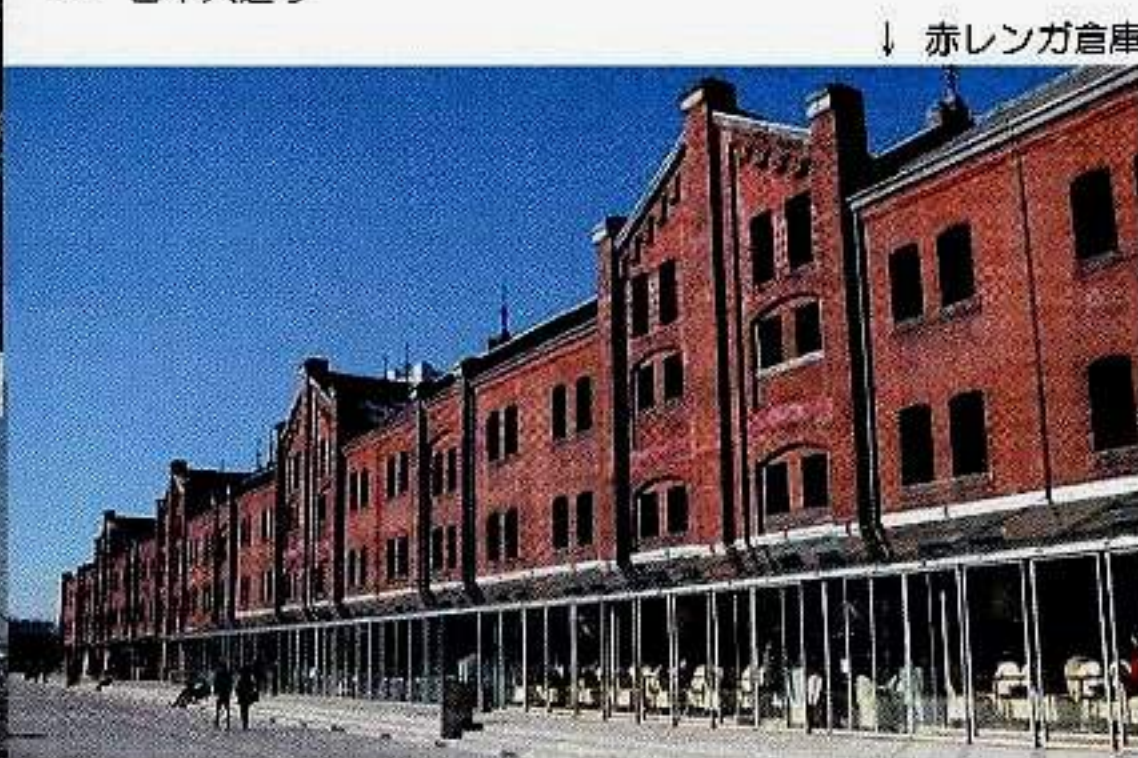
仙田 満氏
環境建築家

略歴 '64 東京工業大学建築学科卒、菊竹請訓建築設計事務所勤務、
'68 環境デザイン研究所 設立、'88 名古屋工業大学社会開発工学科教授、
'92 東京工業大学建築学科教授、'01~'03 日本建築学会会長、
'04~aaca副会長、'05~東京工業大学名誉教授、環境デザイン研究所会長

作品 東京辰巳国際水泳場、ミュージアムパーク茨城県自然博物館、兵庫県立但馬ドーム、
海南市わんぱく公園、愛知県児童総合センター、北九州海峡ドラマシップ、ほか



← 日本大通り



↓ 赤レンガ倉庫

← 大桟橋デッキ

第15回AACCA賞・第4回芦原義信賞

aaca

日本建築美術工芸協会

2006冬-4

社団法人 日本建築美術工芸協会 第17回設立記念会
第15回AACCA賞・第4回芦原義信賞表彰式



表彰作品

AACA賞

- 「INFLUENCE」 一空間と人に作用する家具-
藤江和子

AACA賞特別賞

- 京都迎賓館
榎日建設
- 竹中工務店 東京本店 新社屋
榎竹中工務店

AACA賞奨励賞

- 香蘭女学校ピカステス記念館、芝蘭庵
榎内井建築設計事務所
- 蓮池濠手洗所
榎渡辺明設計事務所

入選作品

- きたまちしましま公園
上山良子ランドスケープデザイン研究所、彦坂 裕
- 国立国際美術館
シーザー・ペリ&アソシエーツ
- 明治大学アカデミーコモン
榎久米設計

審査経過と総評

本年のAACCA賞の応募は29点で、芦原義信賞は10点であった。AACCA賞が制定されてから15年となるが、賞としての認知度が高まり、町並みや建築と美術の融合という形での文化環境形成の気運が広がっていることを実感する。

特に今年はAACCA賞の応募が力作ぞろいであった。AACCA賞は 建築と美術工芸との融合性と都市景観における町並み形成に寄与したすぐれた業績に賞を与えるものである。審査員による総合的な評価により、現地審査8作品を決め、最終的に本賞1点、特別賞2点、奨励賞2点、の計5点を決定した。

本賞は、藤江和子さんの作品で、これまでの建築とのコラボレーションの数々の作品群が評価された。AACCA賞らしい作品である。特別賞はその規模、デザイン、技術等、総合性より2点、奨励賞は小さいがきらりと光る宝石のような2点の作品である。

芦原義信賞は、新人賞としての意味合いがある。今年は10点の応募から3点の作品を現地審査とした。

リーテル東京工場は産業廃業工場をテーマとしたもので、アートのインスタレーションによるオープニングの話題を含め、極めてユニークであり、芦原賞にふさわしい作品である。奨励賞は姫路における町並み形成を強く意識した作品と、こどもを主題とした楽しい空間造形を実現した作品である。

AACCA賞、芦原賞とも入賞を逸した作品の差は極めて小さく、審査は困難であった。応募されたかたがたのご努力に感謝するとともに今後の御活躍をお祈りする。 選考委員長 仙田 満（環境建築家・東京工業大学名誉教授）

選考委員会

選考委員長	仙田 満（副会長）
選考委員	澄川 喜一（副会長）
〃	村井 修
〃	小治 人（専務理事）
〃	清水 重男（理事）
〃	可児 才介（理事）
〃	川村 純一（理事）
ゲスト選考委員	安田 幸一子
〃	近田 玲子

芦原義信賞

- リーテム東京工場
坂牛 卓/O,F,D,A

芦原義信賞奨励賞

- まつびしビル
長岡正芳
- 白鷺大学はくおう幼稚園おもちゃライブラリー
(有)連健夫建築研究室



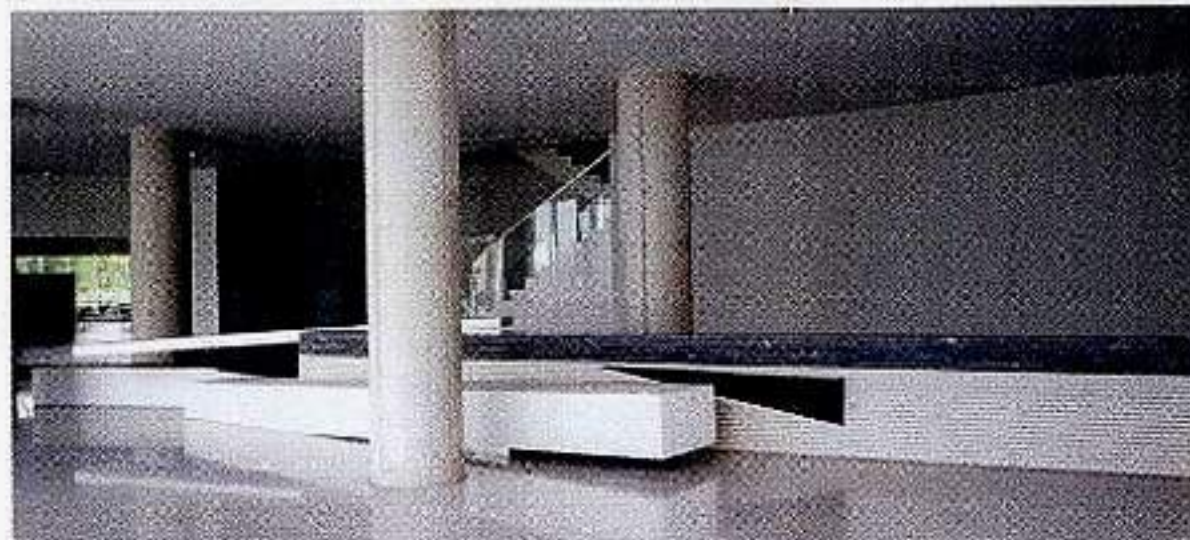
A A C C A 賞

■「INFLUENCE」—空間と人に作用する家具—

くじらシリーズ モルフェシリーズ 万華鏡シリーズ —連の作品

作者 : 藤江和子

所在地 : 東京都千代田区三崎町 東京歯科大学水道橋ビル [MOMENT - k]
大阪府南河内郡河南町 大阪芸術大学総合体育館 [フライングライト]
熊本県熊本市 くまもとアートポリス白川橋



建築家とデザイナーが互いに連携し協力して優れた芸術的環境をつくるという本協会の理念は、まさに藤江和子氏が長年実践してきた創作活動そのものであり、満場一致でAACCA賞本賞に推薦された。アートの領域に深く入り込んだ藤江氏の家具は、建築空間に溶け込みながら、同時に空間全域を斬新なイメージに塗り替えるほど強く存在する。

現地審査の対象となった東京歯科大学水道橋ビルの「くじらシリーズNO.20」は医局用と事務用のふたつの異なるロビーを空間的に仕切りながら、床のレベル差も自然に吸収している。メタリックに染色塗装された積層ベニヤの間隔が空間にリズム感と奥行きを与え、突端のガラスフィンが透明感をより強調していた。家具という概念を超えた藤江氏の造形力によってロビー空間に秩序と静寂と興奮を与える新しい空気が流れていた。建築家との“コラボレーション”ということでは、藤江氏は草分け的な立場を保ちながら80年代初頭から常に意欲作を発信し続けていることに対しここで改めて敬意を表したい。

ゲスト選考委員 安田幸一（建築家）

AACA 賞 特別賞

■京都迎賓館

作者：(株)日建設計 佐藤義信

所在地：京都府京都市上京区京都御苑23

京都迎賓館は、京都御苑内の歴史の重みを感じさせる静かな環境の中にある。旧赤坂離宮の迎賓館に対し、「和」を表現するもう一つの迎賓施設として造られたものである。敷地全体はしっとりとした築地塀に囲まれていて、静謐で落ち着いた佇まいを見せる。周辺の景観の中に姿かたちがしっくり馴染んでいる。非対称のコートハウス型且つ回遊式の施設配置、本来木造であるはずの構造体を鉄に置き換える構造形式、形態は類似していても最新のハイテク材料工法による外部仕上等、伝統建築のよさを生かした現代の建築である。特筆すべきは建築と一体になった庭園のデザインである。池、石、植栽などに加えて時折飛来する白鷺まで部品に用い緻密に演出されたこの空間は大広間などの室内の空間と一体になって賓客に感動をもたらす。家具、調度品、美術作品群はもちろん、壁を飾る織物、工芸の数々は人間国宝級の芸術家達によるものである。また棟梁、左官、建具等の伝統的職人技術にはただただ目を見張るばかりである。ここで見られる建築家を中心にした芸術家など多くの分野の専門家達のコラボレーションは、国家プロジェクトであるとはいえAACCA賞がめざす目標の一つの方向であろう。

選考委員 可児才介（建築家）



第15回AACCA賞・第4回芦原義信賞

aaca

日本建築美術工芸協会

2006冬-7

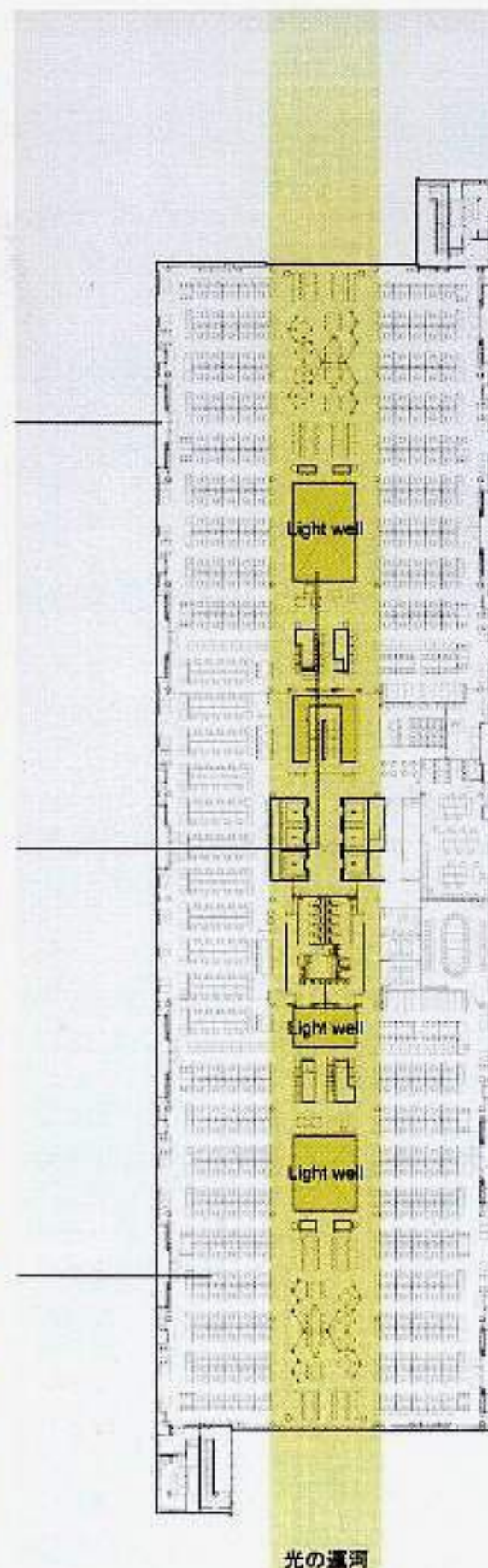
■竹中工務店 東京本店 新社屋

作者：(株)竹中工務店 設計部 川北 英・菅 順二

所在地：東京都江東区新砂1-1-1

竹中工務店東京本店新社屋は、21世紀型オフィスの新しい形を提案している。このオフィスは竹中工務店という、デザインに極めて力を入れている総合建設業の本社として、従来のオフィスのもつ互換性ではなく、極めて個性的で自立的な空間を提示している。このオフィスビルはサステナブル建築という大きなテーマに挑戦しているが、光庭を取り入れて、全体としては従来のコアスタイルの分割したオフィス空間でなく、透明で社員のコミュニケーションがとりやすい居心地のよい開放的な環境を形成している。竹中デザインの建築空間とコンペで選ばれたという若手のアーティストの作品がほどよく調和している。入り口におけるアートワーク、中央のエントランスに面するライトアート等、建築とアートワークが極めて融合されたものとなっており、アートギャラリーを市民に開放する形で設けるなど、さまざまな試みに満ちている。

選考委員長 仙田 洵 (環境建築家)



基準階平面図

AACCA 賞 奨励賞

■香蘭女学校ピカステス記念館、芝蘭庵

作者：(株)内井建築設計事務所

所在地：東京都品川区旗の台6-22-21 学校法人香蘭女学校

香蘭女学校は故内井昭蔵氏が、1978年に最初の校舎を完成させてから継続的に改築され、現在ではきわめて上品な女子の教育空間として完成しつつある。ピカステス記念館、芝蘭庵は校門から校舎へのアプローチに新しくつくられた2つの小さな建物であり、他のレンガ貼りの校舎にあわせ、外壁もベンガラ色を主に構成され、全体として環境に調和した美しい作品である。記念館は小さなホールを中心としたささやかなものであるが、ステンドグラスをはじめ、すべてのディテールが手作りの暖かさに満ちている。また茶室は記念館と程よい距離を保ち、また既存の木々との関係をはかりながら、華やかに催されるお茶会の姿が浮かぶような環境的しつらえの形成に成功している。これらの作品は内井氏がお亡くなりになってから依頼されたといわれる。内井氏のデザインの継承性の確かさを感じさせる作品である。

選考委員長 仙田 洞（環境建築家）



■蓮池濠手洗所

作者：(株)渡辺明設計事務所

所在地：東京都千代田区千代田1-1
(皇居内)

この手洗所は許可が無ければ通れない坂下門の中にある。皇居内の清掃等、勤労奉仕のために全国からやってくる人達や見学のために訪れる人達が利用する手洗所である。皇居の中という特殊な環境の中では、当然厳しい制約が課されることは想像に難しくない。一般の公共建築とは異質の規制や条件が創作者側の自由な発想にのしかかっている。そんな中で作者達は今までに無い伸びやかな空間を作り出すことに挑戦した。敷地は都市にありながら、歴史と自然に溢れる静かな風景の中にある。重厚な城壁の足元に広がる青い蓮池を前にした広場の一角である。ずっと前からここにあったように、目立ちすぎない軽快なアルミの翼が浮遊し、あたりの空気や緑、水を優しく包み込んでいる。その不思議な形や肌合いには建築家、構造家、そして造船職人達が一体となった手造りの跡が溢れている。



この仕事に外部の力を導入する事を決めて実現させた宮内庁の専門家の存在も大きい。

選考委員 可児才介（建築家）

芦原義信賞

■リーテム東京工場

作者：坂牛 卓/O.F.D.A
所在地：東京都大田区城南島3-2



鉄製品のリサイクルを行う民間のこの工場は、東京都が城南島に作ったリサイクル処理施設の工業団地の一角にある。直接東京湾に接する約4,000㎡の敷地に配置された工場に近づくと、空中に持ち上げられたガラス張りのオブジェのような事務棟が目に入ってくる。その下を潜り抜けると、機能そのものといったリサイクル機械やヤードゾーンの大屋根などが中庭を囲うように、すべて剥き出して配置されている。周辺リサイクル工場の閉鎖的な壁とは対照的に、ここはカバーを外された時計の内部といった感じ。粗大廃棄物を汚いものとして覆い隠すのではなく、仕分け、破碎、選別といったリサイクルとして行程が一目で理解できる。東京湾の人工島に完成したばかりのこのリサイクル工場で、国内外6組のアーティストが参加した現代芸術プロジェクトが行われたというが、重要な地球資源である海に面し、航空機が上空を通過するという状況にあって、リサイクル工場であるこの建物自身が現代アートの一作品として提案されたものと思われる。

選考委員 川村純一（建築家）

芦原義信奨励賞

■まっぴしビル

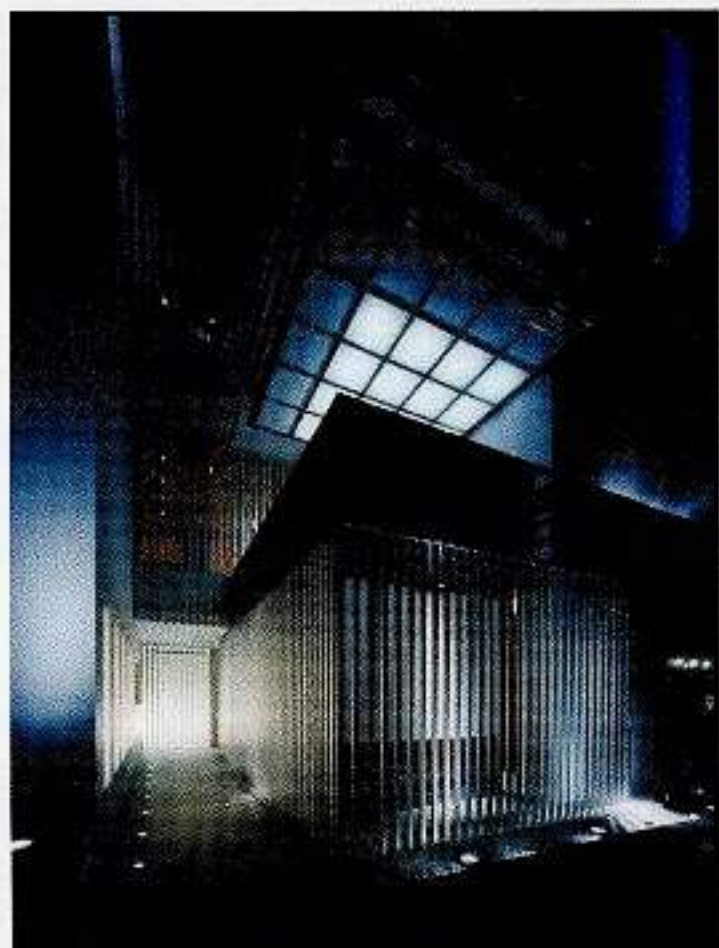
作者：長岡正芳
所在地：兵庫県姫路市魚町45

姫路市中心に近い繁華な飲食街の一郭に老舗料亭の建替えとして、この作品はある。この雑多なビルの並ぶ周辺の飲食街の町並みの中ではこの建物は際立って新鮮なファサードを持ったビルであるとの印象を受ける。

作品の意図するところは、この姫路市街の町並みを、伝統的な和風の建築手法ではなく、現代の建築デザインの手法で構築しようとしたことにあると思われる。

その意図はファサードを構築する際のいろいろの「和」を感じさせるディテールの工夫によって表現されているように感じられる。しかし飲食店ビルであることから、営業上の要求から何時までこの清潔な外観を保っていただけるか、若干の不安は残るが、このような形で若い設計者が建築主と一体になって、新しい形での街づくりに一石を投じる姿勢は好感の持てるものであり、芦原義信賞奨励賞としてふさわしい作品であると考えます。今後このビルを核として姫路の市街地の新しい町並み形成が発展してゆくことを期待したい。

選考委員 清水重男（建築家）



■白鷗大学はくおう幼稚園おもちゃライブラリー

作者：(有)連健夫建築研究室 代表 連 健夫
所在地：栃木県小山市大行寺1195



AACA賞 芦原義信賞が他の建築賞と異なり、協会独自の評価を与える賞であることを念頭においてこの作品を推薦した。この作品は一見、建築造形として際立った作品ではないが、空間の隅々まで幼児の将来を見据えた配慮がなされ、母子への一般解放も行なわれるという地域貢献も考慮された施設である。

芝の築山をくぐり抜けて入る楽しいアプローチの仕掛け、内部に入れば構造として四本の太いみがき丸太が立つ吹抜けとなり、その傘下の空間は、すべて自然素材で作られ、トッライトから陽光が注ぐ。

和室まで含めた遊び場としての小部屋の数々、階段の踊り場に窓をあける管理者への配慮等々、幼児への思いやりが細かい。施主みづからカラージュデザインをするなど積極的に参加したという。

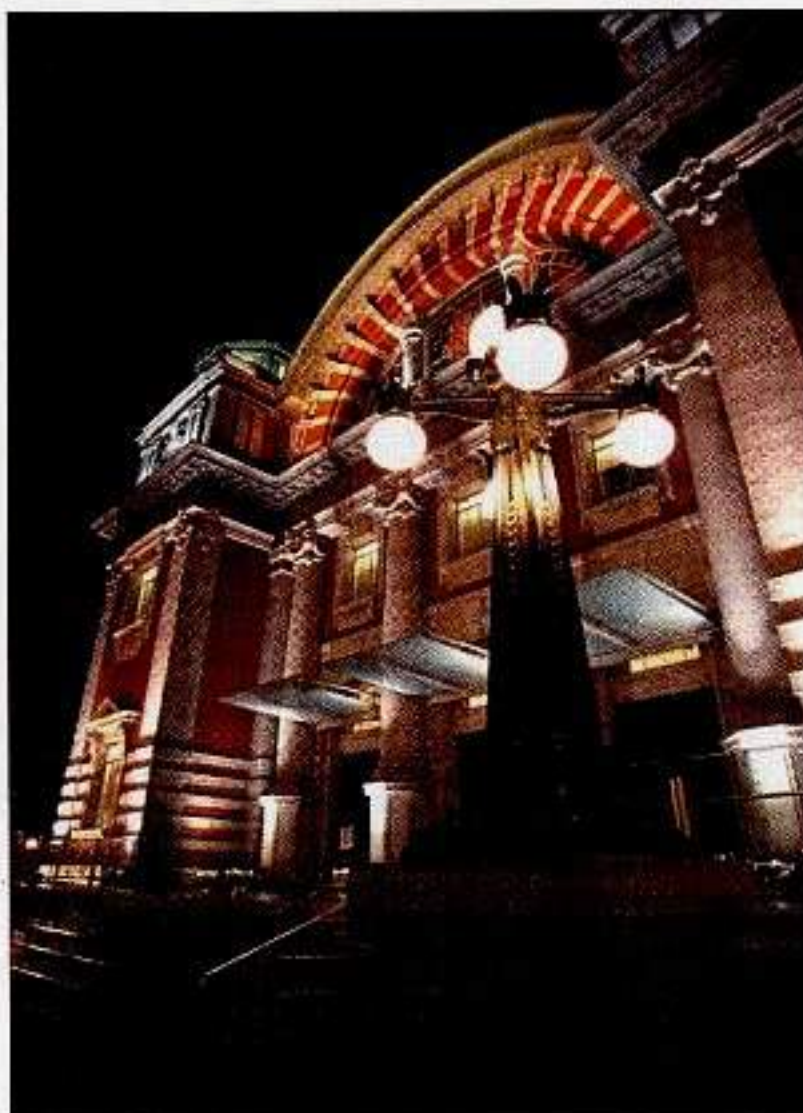
この幼稚園建設に当たってオーナー側と設計者の熱意の協同が感じられる。造形以前に求められる幼児教育の原点が示されているように思う。

選考委員 村井 修 (写真家)

発足記念トーク

日 時 平成17年11月2日 14:00より
会 場 大阪市中央公会堂

対 談 中島 昌信 (aaca会長)
西村征一郎 (aacaかんさい代表)
コーディネーター 小林 治人 (aaca専務理事)
日高 単也 (aaca常務理事)
吉村 忠雄 (aaca常務理事)



立ち上げにあたりまして 会長 中島昌信

aacaが 関西方面の活動の活性化を語るべく、今後「aacaかんさい」として文化的側面から企画・研究交流の場を通じて実践されることを期待いたします。 ご案内の通り当協会は、昭和63年11月文化庁所管の社団法人として設立認可を得て発足いたしました。 初代会長に建築家の芦原義信氏をお迎えし建築家・美術家・工芸家が協力して、わが国文化の推進に寄与すべく協会理念に基づき、景観シンポジウム、AACAA賞並びに芦原義信賞の表彰、各方面から広く講師を迎えたaacaトークの開催、会員交流講演会、建築と文化を語る夕べ等のセミナーの実施など建築文化と環境に係わる諸活動を進めて参りました。 本会は当年設立17年を迎えております。おかげ様で協会が行っている活動の一環が文化庁はじめ 建築・美術関係団体等の深いご理解を賜っているところでもございます。

この育った成果を今後も更に協会理念共々、強かに邁進する所存と考えております。

このたびは「aacaかんさい」が組織されるにあたり日頃の念頭がかない大歓迎をいたしているところであります。

更に会員各位のご理解と御協力を賜り会員相互の信頼関係確立に努めて より一層の発展を急じております。

「aacaかんさい」の方向性につきまして aacaかんさい 代表 西村征一郎

この度 協会理念・沿革に基づく「aacaかんさい」の新たな事業展開のご案内をさせていただきます。

私達造形系の仕事は、住環境、都市環境、景観、庭園（自然共生）からインテリア、美術、素材にいたるまで、そこに育くまれる人々の身近な生活をより豊かに、心安まるものを目指すと言えます。いわば人間をとりまく全環境が造形系の仕事のターゲットであります。しかしそこに従事する職種間はもちろん同業者間においても社会の激動の波から、ものづくりに毅然とした態度がとれる共通の認識が合意されているとは思えません。まして社会でのコラボレーションの機会は無に近ばかりでなく、現在の状況に関する判断・評価を日常的にざっくばらんに話し合える場もなかなか見当たりません。そこで歴史と伝統ある関西を地盤に活躍されている方々と共に、上記のような主旨で集会（見学会、ゼミナール）を継続的、自由な雰囲気で行ない、良き人間関係のもとで、造形行為を通じて社会・文化の継承・発展に寄与したいと考えています。

す

「aacaかんさい」 所在地

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-14-18 本町アセットビル 1F オリベアッドショールーム内

Tel 06-6445-0040 Fax 06-6445-0044

大阪市営地下鉄 四つ橋線 「四つ橋駅」28番出口より 徒歩5分

新入会員 (2005年8月~2005年12月 入会)

正会員

西村征一郎	〒606-8423	京都市左京区鹿ヶ谷桜谷町93	Tel.075-761-6552
万波誠三	〒542-0067	大阪市中央区松尾町10-5 13F-1 松尾町1105	Tel.06-6761-4911
立松直樹	〒606-0916	京都市左京区松ヶ崎三反長町1-11	Tel.075-705-2476
柳野俊明	〒230-0076	横浜市鶴見区馬場1-2-1 建功寺	Tel.045-571-1465
佐々木歳郎	〒162-0056	新宿区若松町30-4 HOUSE-S3	Tel.03-6315-3553
長畑剛男	〒201-0012	狛江市中和泉5-28-18	Tel.03-3489-7780 (有)日栄緑化
森 竹巳	〒373-0002	太田市菅塩町1	Tel.0276-37-3807
林 茂	〒659-0086	芦屋市三条南町10-7-301	Tel.0797-31-8369
連 健夫	〒150-0031	渋谷区桜ヶ丘町12-8 渋谷J-ビル 209	Tel.03-5456-5134 (有)連健夫建築研究室
岩崎 隆	〒352-0031	新座市西堀3-1-18-2	Tel.0424-95-8100 伊井・外江
服部睦美	〒331-0061	さいたま市西区西遊馬1255-4	Tel.048-625-6392 外江
三澤憲司	〒413-0101	熱海市上多賀1045-145	Tel.0557-68-5422
光井 純	〒153-0064	目黒区下目黒5-28-18 RKBビル6F	Tel.03-3491-0417 シー・アリアット・プロジェクト・ラボラトリー
神家昭雄	〒702-8057	岡山市あけぼの町19-6	Tel.086-264-6480 神家昭雄建築研究室
坂牛 卓	〒160-0007	新宿区荒木町14	Tel.03-3358-4303 O.F.D.Aプロジェクト/坂牛卓一級建築士事務所
長岡正芳	〒670-0911	姫路市十二所前98	Tel.0792-22-1556 榊長岡正芳建築都市研究所
佐藤義信	〒102-8117	千代田区飯田橋2-18-3	Tel.03-5226-3030 榊日建設
藤江和子	〒150-0033	渋谷区猿樂町30-2 比叡ビル 3F-3F	Tel.03-3464-3479 藤江和子外江
渡辺 明	〒152-0003	目黒区碑文谷4-16-19	Tel.03-3710-1963 榊渡辺明設計事務所
鶴飼 隆	〒540-8501	大阪市中央区大手前4-1-20 NHK大阪放送局12F	Tel.06-6941-8529 (有)タイトム7-ト
余頃 明	〒630-2174	奈良市横田町297	Tel.0742-81-0712 榊リカ・デコ
藤田敏治	〒550-0004	大阪市西区靱本町1-14-18 本町アクトビル1F	Tel.06-6445-0040 織部製陶株式会社大阪工場 榊リカ・デコ
谷岡知子	〒604-8101	京都市中京区御池通柳馬場角 京都朝日ビル7F	Tel.075-222-0282 榊陶額堂
福島弘樹	〒154-0023	世田谷区若林1-1-13	Tel.03-3414-5597 工房 炉鍛
西宗耕二	〒602-8363	京都市上京区御前通り上ノ下立売西入	Tel.075-461-6157 大村工業株式会社
大木 功	〒630-8113	奈良市法蓮町986-107	Tel.0742-22-3678 大栄土理工業株式会社
村岡章年	〒550-0015	大阪市西区南堀江1-26-27-202	Tel.06-6534-0056 スタジオ・ボーン
加藤 聡	〒106-0032	港区六本木4-11-4 六本木ビル	Tel.03-5775-0021 列スクリイ株式会社
菅野美樹	〒657-0064	神戸市灘区山田町2-5-11	Tel.09079643748 一級建築士事務所 CREATION bee
木村良一	〒530-0043	大阪市北区天満4-4-15	Tel.06-6352-0112 榊アライヴアップ株式会社
白砂伸夫	〒616-8355	京都市右京区嵯峨新宮町7-1 丸林 広沢102	Tel.075-864-8643 榊アライヴアップ株式会社
高梨竹雄	〒275-0017	習志野市藤崎7-9-10	Tel.047-472-7234
田上秀司	〒213-0002	川崎市高津区二子5-4-6	Tel.044-811-1530
松田正之	〒114-8543	北区王子本町1-26-17	Tel.03-3906-1211 学校法人 中央工学校
片岡雅子	〒203-0033	東久留米市滝山7-17-4	Tel.0424-75-1885
前野正司	〒630-0241	生駒市松美台45-212	Tel.0743-75-5043
神田 孜	〒136-0075	江東区新砂1-1-1	Tel.03-6810-5000 榊竹中工務店

法人会員

榊塗り屋	〒167-0023	代表取締役社長 和田利雄 杉並区上井草1-23-19 3F	窓口	営業部 酒井ヨネ Tel.03-3395-2700
榊池袋松屋	〒171-0022	代表取締役社長 伴 紀子 豊島区南池袋2-47-4	窓口	同 左 Tel.03-3987-1811
榊大林組東京本社	〒108-8502	代表取締役副社長 上原 忠 港区港南2-15-2	窓口	設計第二部 川瀬俊二 Tel.03-5769-1415

会員投稿記事 募集中

会員の皆様の作品紹介、活動報告、
展覧会、個展等のご案内、企業の
広告、出品展等のご案内を会報に
掲載いたします。詳しくは事務局
にご相談ください。

会報について

会報へのご意見、ご希望を
お寄せください。(広報委員会)

発行

社団法人 日本建築美術工芸協会

〒108-0014
東京都港区芝5-26-20 建築会館6階
Tel 03-3457-7998
Fax 03-3457-1598
Url http://www.aacajp.com
E-mail info@aacajp.com

編集

広報委員会

石田 真人 垣内 泰三 北村 孝昭
瀬川 秀之 竹生田 正 中村 弘子
長谷川 亨 本田 宣之 山崎 輝子

事務局

伊藤 留雄



制作協力

中栄印刷株式会社